

生徒会の紹介

～新たな世代へ～

生徒会長 五年一組 澁谷さくら

「燎(かがりび)」というスローガンの下、あっという間に過ぎ去った一年間。みなさんにとってこの一年間はどんな一年間でしたか。

私にとってこの一年間は挑戦の一年間でした。

「代々受け継がれてきた伝統を守りつつ、新しいものを取り入れる。」このことを念頭に置いて活動してきました。その中でも一番記憶に残っていることは、球技大会で行った先生方対生徒のエキシビジョンマッチです。普段の授業では見ることでできない先生方の活躍を見ることができ、とても楽しかったです。



一年間、生徒会長として様々なことに挑戦しながら行事を運営できたのは、たくさんの人々の支えがあったからこそです。先生方はもちろん、全校生徒のみなさん、そして共に挑戦してきた執行部の四人。支えて下さったみなさんに心から感謝しています。本当にありがとうございました。

最後に、第十七代生徒会執行部のみなさん。これから大変なこともあるかと思いますが、執行部一丸となってこの村上中等をより盛り上げていってください。みなさんの活躍を楽しみにしています。

～Mistake, and Learning～

生徒会前期副会長 三年二組 後藤 颯斗

私は、全校生徒がよりよい学校生活を送ることができるような学校を作りたいという思いから、生徒会に立候補しました。これは私を大きく成長させるきっかけになった、と私は確信しています。

この一年間をふり返ると、自分は失敗ばかりしていたと思います。全校生徒が大体育館に集まるような大きなイベントで言葉をつまらせてしまったり、イベントを運営するにあたって重要な準備を怠り、進行を遅らせてしまったりしました。私はまだまだ未熟だと感じました。そんな時、私は生徒会執行部のメンバーや友達に助けられ、改めて助けてもらえることの温かさを感じました。また、人に助けられているだけでなく、自分も前期副会長として頼られるような存在にならなくてはいけないと、何か準備不足になっているものはないか考えるなど、次に生かす努力をしました。それにより、準備を周到にするようになったり、大勢の人の前で話せるようになりました。

最後に、全校のみなさん、先生方、さらに生徒会執行部のメンバーなどの多くの支えで一年間楽しく過ごせました。本当にありがとうございました。

学校行事の紹介

◆ 1学年 スキー合宿 ◆

1年生は、集団行動を通して、ルールやマナーを学び、友達のよさを知ること、冬の自然についての理解を深め、冬のスポーツに親しむことをねらいとして、1月に蔵王スキー場で2泊3日のスキー合宿を行います。



スキーの経験やレベルごとに8グループに分かれ、インストラクターの指導の下、スキーレッスンを受けます。1日目の夜には、ロープウェイで山頂に行き、極寒の中、樹氷を見に行く体験を行い、2日目には、希望者を対象にナイトスキーを実施しました。初心者生徒も、3日目にはかなり上達し、すいすいゲレンデを滑ることができるようになります。また、宿泊やスキーレッスンを通して、今まで以上に友達関係を広げることができました。

<生徒の感想より>

僕はスキー合宿を終えて思ったことが2つあります。1つ目は、インストラクターの人に教えてもらって上達したことです。今年初めてでしたが、インストラクターの人にコツを教えてもらい、うまく滑ることができました。人の話をしっかり聞くことはとても大切だと改めてわかりました。2つ目は、友達のよさを再発見できたことです。部屋では、自分たちで布団の出し入れをしましたが、人の分まで手伝ってくれる人がいました。また、みんなで話したり、トランプをしたり、食事のときに他の班の人と話したりして、普段あまり話さない人とたくさん交流でき、新たな一面を知ることができました。

◆ 2学年 ブリティッシュヒルズ ◆

2年生は、11月に福島県のブリティッシュヒルズで、2泊3日の日程の語学研修を行います。イギリス文化や欧米のマナーを学ぶことを通して、日本と世界のつながりについて学びます。

<生徒の感想より>

ブリティッシュヒルズでの経験

本場イギリスの英語とは、とても難しいものです。多くのネイティブスピーカーの先生と一日中英語で



過ごし、文化やマナーを学ぶことは簡単なことではありませんでした。しかし、ブリティッシュヒルズでの経験により、英語も日本語同様、気持ちを伝えるための手段であり、同じ人間同士が話しているだけなのだと思え、心が軽くなりました。ここでは、そう思えるような体験をたくさんすることができました。

レッスンでは、先生方がとてもユニークで、クイズを出題するなど、私たちに分かりやすく英語を教えてくださいました。少し難しい内容も簡単な英単語に言い換えてくださって、みんなで楽しくレッスンを受けることができました。

また、英語だけでなく、イギリスの建築様式を見ることができました。ステンドグラスは細かく色を変えていたり、私たちの宿泊施設にも普段は使わないような木製の重い扉を使用していて、とても印象に残りました。

私はブリティッシュヒルズでの経験を大切に、これからも、英語や古い建築に興味をもっていきたいです。



◆ 3学年 学習合宿 ◆

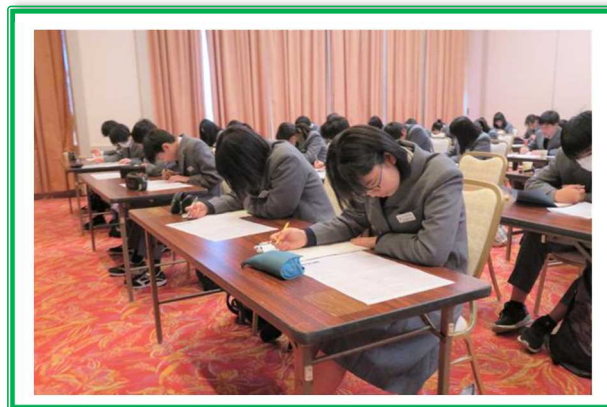
3年生は、11月に学習合宿を行います。中学校の学習内容の総まとめとして、全国の高校入試の過去問に取り組みます。3日間で、合計30時間近く学習に取り組みます。

<生徒の感想より>

・夜遅くまで自学を頑張っている人の姿や、早朝学習に参加した人の話を聞き、刺激になるだけでなく、自分のためになりました。また、他県の高校入試問題を解くことで、中学校の学習内容の復習ができてよかったです。

・集中して学習に取り組む力が身についたと思います。数学の1回目の過去問よりも、2回目のほうが20点も点数が伸びて嬉しかったです。

・目標や見通しをもって学習することが大切だと分かりました。成績の良い人が、集中すべき時にもすごく集中している姿に、刺激をもらいました。



- ・分からないところを積極的に聞きに行くことができました。辛い環境でどれだけ甘えずにいられるかという忍耐力が身についたと思います。
- ・自分が思っていたよりも点数が低くてショックを受けたこともありましたが、その点数のおかげでやる気が出ました。また、医学部への道のりについて、先生にじっくりアドバイスをもらうことができ、とてもためになりました。
- ・3日間を通して、これからもこのメンバーと一緒に勉強していくのだという意識が高まりました。



◆ 4 学年 海外研修 ◆

4年生は、8月下旬に、オーストラリア・ブリスベンで10日間、ホームステイを体験します。現地では4つの学校にわかれ、本校生徒一人に現地生徒1名がつき、個の国際交流を進めます。現地では、日本文化についてプレゼンテーションを行うほか、ワークショップを主催し、茶道・あやとり・着物のきつけ・二人はおり、金魚すくいなどを指導し、体験してもらいました。



<生徒の感想より>

ホームステイ初日、私は緊張のあまり、ホストファミリーとの会話に首を振ることしかできませんでした。しかし、ファミリーはあたたかく接してくれ、私の下手な身振り手振りを使っての英語にも耳を傾けてくれました。大切なのは、自分から話そうとする積極性だと感じました。また、私は、毎日、現地でランニングをし、オーストラリアの土の感触を楽しみました。現地の学校で、私は茶道を指導しましたが、水の性質が異なり苦労しました。またハイチュウについてのプレゼンもしました。異文化に触れ、日本のよさを再確認したよい経験になりました。



なお、帰国後は、保護者や来校者のみなさん向けに報告会を実施しました。文化祭では、日頃の学習成果を披露する機会として、現地での体験を「漢詩（国語）」「英語の俳句（英語）」で表現したほか、AUSTRALIAという文字を「関数のグラフ（数学）」で表現し、展示しました。



◆ 5 学年 東北大学オープンキャンパス ◆

5年生は、7月の下旬に、1泊2日の日程で、東北大学オープンキャンパスに参加しました。7月30日の午後と7月31日の午前に、各学部の模擬授業や説明会に参加して、総合大学の教育力を学びました。1日目の夜間には、当校のO.B.から話しを聞く機会も持ちました。



・自分はどの進路に進むのかまだ迷っていたが、東北大 O.C.に行って、理学部に進もうと思った。他にも、村上中等 O.B.から大学生活のことについて詳しく聞く機会があってよかった。

・目的を持って参加し、大学生に積極的に質問して、自分の将来の姿を具体的に考えられる域にまで持って行けた。

・いろいろな学部学科を見ることができた。旧帝大のすごさを知ることができた。

・自分のしたいことができる学校を選ぶためには、実際に行ってみることが本当に大事だということを知りました。

・留学ということがどのようなことなのか、ぼんやりとしたイメージしかなかったが、はっきりと自分のやりたいことのひとつになったと思う。広い視野を持とうと思った。



・教育学部で行っている、東日本大震災で被災した子どもたちを支援するプロジェクトが特に印象に残っている。実際に東北大学に行っている人の声を聞いて、勉強するモチベーションが高まった。
・日本でもトップレベルの大学に通う人々の話がとても面白く、教養のある人たちばかりだった。自分も彼らのような人間になりたいと思った。

◆ 六煌祭（体育祭） ◆

「六煌祭で学んだこと」1年生

僕が六煌祭で学んだことは、協力し合うことの楽しさと、同じ連合の人と作戦を考え合う楽しさだ。協力し合う楽しさを学んだ競技は、応援だ。応援団の人たちが三冠をとれるようにと僕たちに一生懸命お願いしているのを見て、僕たちは熱く心が燃えた。その日から、みんなの顔が変わったような気がした。応援の振り付けはとても難しく、特に創作ダンスが難しかった。しかし、先輩たちの一生懸命なダンスを見て、やる気がわいてきて頑張ろうという気持ちになった。そして、本番。大きな声で応援し、みんなで協力してダンスを踊った。結果、応援賞をとることができた。このことを通して、僕は協力し合うことの大切さを学んだ。



次に、考え合う楽しさを学んだ競技は、選抜リレーだ。僕は、休んだ人の代わりに走るようになった。家に帰ってからも、バトンの持ち方やバトンゾーンのことを一生懸命研究した。でも、実際に走ってみると考えるのとでは全然違って、どうすればいいか焦った。勇気を出して先輩に聞いてみると、親身になって相談に乗ってくれ、一緒に作戦や走順を考えてくれた。とても心強く、ありがたく思った。そして、一緒に考えているときがとても楽しく感じた。

これらの楽しい六煌祭の経験を胸に、これからの学校生活を過ごしていきたい。



「六煌祭で学んだこと」2年生

私が六煌祭で学んだことは、相手の気持ちを考えることで、自分の思っていることや言いたいことが伝わりやすくなるということです。私は、赤連合の応援団でした。応援練習では、2年生が一番声が出ていなくて、どうしたらみんなが声を出してくれるか分からず、イライラしておこってば

かりでした。しかし、前期副団長の天音さんは、声が出てきたことを褒め、みんなの不安をぬぐい去ってくれました。

今回の六煌祭では、応援団として人一倍声を出すだけでなく、みんなの気持ちを同じ方向に向けることが大きな仕事でした。そして、応援賞を取った時の達成感も人一倍味わえました。

とてもいい経験になりました。

「六煌祭の感想」3年生

・生徒会執行部として、いろいろな準備を頑張りました。学んだことは、「準備は早めに、そして念入りにすること」の大切さです。執行部としての仕事

がたくさんあるのは大変でしたが、その分、とても充実したし、やりがいもあって楽しかったです。

・頑張ったことは、前期副団長として、他の応援団員と協力して、前期生応援を完成させたことです。声がかかるまで大声を出したり、朝早く学校に来て小道具づくりをしたことが印象に残っています。ほかにも、陸上部のライン引きの仕事や、学年委員として綱引きの役員を頑張りました。

・互いに助け合うことの重要性を学びました。私はダンスが苦手で、振り付けをなかなか覚えられず、みんなに教えてもらいながらも、一人遅れをとってしまいました。でも、「自分が助けてもらったのだから、自分もだれかを助けよう」と思い、後輩たちに振り付けを教えたりすることができました。このように意識していくと、チーム全体が順調に進みました。互いに助け合うことが団結の近道であると気づきました。



◆ 六碧祭（文化祭）◆

「六碧祭を終えて」1年生

私にとって初めての六碧祭だった。準備は大変だったけれど、楽しい思い出を作ることができた。その中で印象に残っていることが3つある。

1つ目は、看板作りだ。私は看板係で、友達と協力して作っていた。でも、なかなかアイデアが浮かばず、いつの間にか残り1週間を切っていた。その時はとても不安で焦りがあった。でも、他の係の人も協力して、当日までに完成させることができた。その時は、今まで味わったことのない達成感があった。



2つ目はステージ発表だ。私は英語のスピーチの代表だった。人前で発表するのが苦手で不安があった。でも、何度も練習して当日は成功した。友達の応援も大きな力になった。終わった後も、「おつかれ。上手だったよ。」「すごくよかったよ。」と、声をかけてくれた。とても嬉しかった。

3つ目は、合唱コンクールだ。私は合唱コンクールをとても楽しみにしていた。でも、合唱練習の時、何度もみんながまとまらないことがあった。その時は、とても不安で、そして悲しかった。でも、歌っているときにみんなの声が1つになり、目指しているところは同じだと感じて感動した。そして、迎えた本番発表の前に、みんなで円陣を組んだ。「オー」の音が響き、みんなが笑顔になっていた。当日は緊張して、少し間違えてしまったが、みんなと歌えることができて、とても楽しかった。このときも、達成感を感じた。

六碧祭を終えて、私はたくさんの達成感を味わうことができた。その達成感は、努力はもちろん、友達との協力があってこそ得ることができたと思う。大変なこともあったけれど、当日は楽しむことができた。来年も楽しみだ。



「合唱コンクールで最高のクラスに！」2年生

練習の最初の頃は、音程やハミングの部分が難しく、大変でした。本番は緊張や慣れない場ということもあり、リズムが少し速くなってしまったけれど、それぞれのパートがきれいな歌声を体育館に響かせることができたと思います。銅賞を取れてよかったです。合唱を通して、2-2の団結力や絆が深まり、最高のクラスになれたと思います。来年はメンバーが違うけれど、新しいメンバーでも心を一つにして歌いたいです。

「六碧祭の感想」3年生

・今年で最後のクラス合唱が印象に残っています。いい合唱を作るには、クラス全員で協力して、意見を言い合うことが大切だと思いました。みんなが意見を言い合うことで、どんどんいい合唱になっていったと思います。クラス全員が協力して、真剣に取り組んだおかげで、本番もとてもいい合唱ができました。結果は残念でしたが、練習も本番もとても楽しかったので、本当に悔しかったです。当日の終学活の後、みんなで体育館で歌った時、様々なことを思い出し、悔しくて、泣いてしまいました。みんなで協力することによってこんなに喜んだり、悔しがったりできるんだと知ることができました。



・準備から六碧祭本番までの3週間、ピリピリしたり、バタバタしたり、様々な試練がありました。でも、それを経験した分、多くのことを得ることができました。今回学んだ「本気で取り組むことの大切さ」と「すべきことを自主的に見つけることの大切さ」を忘れずにいたいです。今までは、楽な方に行きたくなることもあったけれど、これからは少し苦しい方を選んでみたいです。その中でよく考え、試行錯誤して、自分なりに乗り越えられるようになりたいと思います。

部活動の紹介



♪男子バスケットボール部 五年一組 真田 翼♪

私達男子バスケットボール部は、自分達の弱点や課題を見つけながら、日々の練習に取り組んでいます。

私達の部活は、みんなの仲が良く、上手いかない所があればお互いにアドバイスをし合い、キツイ練習の時には励まし合っています。これにより、前期生と後期生がお互いに高め合うことができる良い雰囲気の中で活動できています。今年度は、前期生の人数が後期生に比べて多いこともあり、基礎である体力作りやボールハンドリングなどに力を入れて練習しています。コート一面を使用できる休日の活動では、普段積み重ねている基礎を活かし、より実践的な三対三や五対五などの練習をしています。また、男子バスケットボール部は、全体での練習の前後に自主練習をしている人が多く、とても積極的に活動しています。

これからも、指導してくださる先生方、一緒に練習しているチームメイト、日々の活動を支えてくださる保護者への感謝を忘れず、チーム一丸となって練習に励みたいと思います。

♪女子バスケットボール部 五年一組 小田 すみれ♪

私達女子バスケットボール部は、限られた時間の中で互いに切磋琢磨し合いながら日々活動を行っています。

村上中等教育学校では、部活ができる時間が限られているため、活動中は全力でプレーする、互いを高め合える声掛けをするなどして、質の高い練習を心がけています。また、大会などで試合が終わったあとでみんなで話し合いをして、勝利に繋げるようにしています。

現在、女子バスケットボール部は、前期生十二名、後期生九名の合計二十一名で、学年間の壁も無く、部員全員が和気藹々と活動しています。きつい練習をしている時もみんなで励まし合い、とても良い雰囲気です。

これらの活動を支えてくださる方々、保護者、そして毎日指導し、生徒一人一人を見てくださる顧問の先生方への感謝を忘れず、一日一日を大切にしながら、これからもチーム一丸となって精進していきたいです。



♪サッカー部 五年一組 諸富 速人♪

私達サッカー部は、グラウンドが使えるときは、とりかご、ポゼッション、そしてゲームなど、実践的な練習をし、冬などのグラウンドが使えないときは、ランニング、体幹トレーニング、筋トレ、リフティングなどで基礎体力をつけています。普段から先輩・後輩のコミュニケーションが活発な

ので、中等の良さを活かしていると思います。

今年は新入部員が多かったので、昨年よりも実践的なゲーム形式の練習をすることができました。その反面、前期生の指導が多くなったため、後期生の底上げが上手にできなかった一年でした。これからは前期生の底上げだけでなく、個々の実力を上げられるように、練習から意識して取り組みます。

今年度の大会では、前期生・後期生共に思うような結果が出せませんでした。後期生は、セットプレーの弱さと守備強度の低さにより失点を重ねてしまいました。今冬は、二対二を通した守備の連携を向上させるのとフィジカルトレーニングで対策していきたいです。来年度勝つために、冬の練習で力を蓄えていきたいです。

♪テニス部 五年二組 上村 碧♪

私達テニス部は、「当たり前は当たり前。」という代々先輩方が掲げ、目指していた目標があります。この目標を達成するために、日々の練習を疎かにせず、部活ではモチベーションを互いに高め合い、技術的な面だけを磨くのではなく、礼儀や節度を遵守することに留意してきました。

技術的な面では、ただ単にボールを打ち合うだけではなく、どのようにしたら練習での動きを本番の試合にフィードバックさせられるのかを、普段の部活で考えながら取り組みました。冬の部活も真剣に、夏季の部活の時とはまた異なったメニューで、夏に向けて体を鍛えあげました。

精神的な面では、コート整備や部室内の清掃を通して、テニスをさせてもらうことに感謝の気持ちを持つことに最善を尽くしました。また、他のメンバーが試合をしている時に応援をし励まし合ったり、他校の試合を見て自分たちの技術の発展に繋がられるように精進しました。しかし、改善する点が多々あるので、テニス部全体で協力し、これからも切磋琢磨していきたいと思っています。



♪陸上競技部 五年二組 谷本 啓♪

私たち陸上競技部では、今年度、中心となる顧問の先生が変わり、新たな体制での始動となりました。その中でも、この部の核となっているのは、学年の垣根を越えた仲の良さ。分け隔てのない雰囲気は今も健在です。日々の過酷なトレーニングをこなしていく中で、挫けたり弱音を吐くことももちろんありますが、仲間がいることで乗り越えることができています。厳しい練習の中で、さらに絆が深まっています。

陸上競技というスポーツは、時と場合によりますが、己との戦いであることの方が多いでしょう。



過去の自分を越えるためには、今の自分への矜持を持つことが不可欠です。そういったことも踏まえて、今年は部員全体が自分に足りないもの、自分の弱い所と向き合い、考えた練習を重ねられているのが特長です。この点で、昨年とは大きく異なっています。

良くも悪くも、陸上競技は数字。これほどはっきり明確に突き付けられるものは、他にありません。その中で、私たちは、地道な努力を継続し、過去最高の自分を目指します。

♪ダンス部 五年一組 小出あかり♪

私達ダンス部は、自分に限界を作らず、常に刺激を求めて活動しています。今年も、例年と同様、春と秋の県大会や六碧祭だけでなく、村上市内や新潟市内のイベントにも出演させていただきました。

私達は日々、主体的に目標を持って活動しています。今年度は様々なジャンルのダンスに挑戦し、自分の苦手な部分や、今後の課題を見つけることができました。ダンス部では、スムーズに作品作りを行うため、それぞれの得意分野を生かし、振り作りや衣装デザインに関わっています。卒業された先輩の多くの方が進学先でダンスを続けられていることも、ダンス部の特徴の一つです。今でも、部活に来て新しい振りや技を教えてください、私達の技術の向上をサポートしてくださっています。

ダンスは踊る人だけでなく、見る人にも感動を与えることができるスポーツです。来年度も、部員全員で明るく楽しく、笑顔が絶えない部活にしていきます。今後とも、ダンス部の応援をよろしくお願いします。



♪バレーボール部 五年一組 本間 菜月♪

今年度バレーボール部は、新入部員を迎え更なる技術の向上を目指し、日々の練習に励んできました。基礎基本の練習から試合形式の練習まで、一人一人が声を出すことを意識して取り組みました。

前期生は、基礎練習に力を入れ、また体幹トレーニングなども取り入れました。疑問があればチーム内で話し合い、先生の熱心なご指導のもと、一丸となってプレーすることを目指しました。

後期生は、個人の技術向上を目標に、各練習メニューについて、それをする意味やメリットを考えながら行ってきました。特にスパイク練習では、スパイカーとセッターの話し合う時間を設け、先生のアドバイスを参考に試合に臨みました。



今年度は、前期・後期が、それぞれの目標に向けて精一杯活動してきました。これからも支えてくださる先生方や保護者の方々、そして頼れるチームメイトへの感謝の気持ちを胸に努めていきたいと思ひます。

♪卓球部 五年一組 田澤 慶次郎♪

今夏に東京オリンピックを迎え、卓球競技においても、多数のメダル獲得が期待されています。日々努力し、活躍される日本の選手達の姿を見て、私達も練習に励んでいます。

今年度も部員数が増加し、先輩一人当たりの後輩の人数が増えました。なので、後輩に十分な指導を施すことができず、大会で良い成績を多く残すことができませんでした。このことを反省し、先輩の技術を後輩に教えながら、双方が技術に磨きをかけられるような練習を積極的に行うことにします。例えば、試合後に助言をもらい、その助言を受けての

練習をすぐに行うなどです。また、より卓球の技術を向上させるために、下半身の強化に力を入れます。フットワーク練習やトレーニングを、平日の練習で行いたいと思ひます。

来年度からは、より充実した部活を行うために、卓球の技術の向上はもちろん、異学年間のコミュニケーションも増やそうと思ひます。そして、支えて下さる方々

への感謝を忘れず、その期待に応えるべく、日々の練習に励んでいこうと思ひます。



♪バドミントン部 五年一組 渡辺 涼太♪

日本のバドミントン界は、桃田選手を筆頭に盛り上がっています。私たちバドミントン部も同様に、顧問の尽力や後輩のがんばりもあり、それ以上の盛り上がりを見せています。

最近バドミントン部は、新入生に恵まれており、今年度の一年生は十人入部し、前期生だけでも二十人以上になる大所帯となりました。よって後期生へのプレッシャーが大きくなるのと同時に、より一層質の良い活動内容が求められるようになりました。そのため、顧問の先生方と相談し、練習試合の数を例年よりも多くしてもらいました、おかげで部員の実力向上だけでなく、日頃の部活動におけるメニューの幅も増え、放課後の部活動も良いものになってきたと感じています。

これからも、自分がすべきことをあたり前のように行い、日頃の先生や保護者への感謝を忘れずに、今まで先輩方から受け継いできたバドミントン部の雰囲気と誇りを次の世代に渡せるように尽力していきます。



♪華道部 五年二組 高橋 つぐみ♪

私たち華道部は、月に一回、外部講師の木村先生に指導していただきながら、お花の生け方を学んでいます。

毎月の活動では、(花屋さんが選んでくださった)季節のお花を使いながら、自分で構成を決めて生けています。もちろん初心者でも、先生がお手本を示してくれたり、基本の型を教えてくださいるので、自分の作品を作っていくことができます。後期生になると、前期生の頃に習った型を応用し、一人一人が独自の作品を作ります。その際、先生からもアドバイスをいただき、自分の作品をよりよくまとめることができます。



そして、自分の生け花の技術の成果をたくさんの人に見てもらう機会もありました。六碧祭や、クリスマスなどの行事ごとに、自分で作品を作り展示させていただきました。行事の時には、自分の好きなお花を選んで生けることができるため、とてもやりがいがあります。

華道部は、一人一人がお花と真剣に向きあうことで、日常のざわめきから解放される場です。私たちは、この部活を通じて友人と仲良く楽しくゆっくりとお花に向きあっていこうと思います。

♪箏曲部 五年一組 大矢 桃子♪

今年は、箏曲部にとって多忙な年となりました。その分、成長できた面も多々ありました。

特に前期生は、毎年参加している村上市中学校音楽総合発表会が例年より遅く、また、夏休みに行われた青少年の主張大会で演奏するなど、今年は発表の日程が変則的でした。それに伴い、練習する曲数や夏休み中の練習日数の増加など、例年よりやる事が多くなりました。しかし、それを乗り越え、それぞれの発表でお褒めの言葉をいただくことができました。また、後期生は新潟県高等学校総合文化祭の日本音楽部門で、昨年に続き優秀賞を受賞できました。



練習では、今年は部員一人一人が演奏に意見を持ち、それを共有できるようになることを目指しました。全部員の声を取り入れて曲想をつけたり、学年をシャッフルしての少人数練習などを行ったりしました。自他の演奏の良い所、改善点を探すことで、技術力や合奏力が向上したと思います。このように、今年は多くの経験をして、技術を磨いた年でした。これを生かし、今後も部員皆でより魅力的な演奏を目指していきたいです。

♪マンガ部の活動について 五年二組 北村 美奈♪

今年度は、マンガ部の活動を積極的に外部に発信できた年になりました。

七月の瀬波ぼんぼり祭りでは、ぼんぼりとして飾る絵を描きました。毎年参加しているマンガ甲子園では予選を突破し、高知県で行われる全国大会に新潟県内の高校で初の出場を果たしました。結果は惜しくも入賞を逃しましたが、決勝戦まで進出し、全国上位十五校にまで勝ち上がることができました。また、大会後の交流会では、全国の美術系の部活に所属する高校生との交流を深めることができました。

六碧祭では、例年の部誌発行、イラストの展示に加え、新たな企画を実施しました。今までのマンガ部の展示は、部員が描きたいもののみを描いていたため、来場者は僅かでした。その反省点をふまえ、今年は、イラストのリクエストを募集し、ラミネートカードにして配付したり、マンガ甲子園に関する展示をすることで、多くの人に活動を見てもらえました。

今年は、たくさんの人に村上中等マンガ部の活動を知ってもらえました。今後も部員の個性を大切に、より良い部活のあり方を目指して頑張りたいです。



< 8 / 3 ~ 4 マンガ甲子園出場! >

♪囲碁・将棋部 五年一組 齋藤 拓海♪

私達囲碁・将棋部は、今年度、前年度の反省点を見直すための活動を行いました。前年度は、個々の実力不足による序盤・中盤・終盤での隙の多い試合が囲碁・将棋どちらにも見られました。そのため、今年度は、個人活動を中心に部活に取り組みました。

将棋では、放課後に集まり、詰め将棋や部員同士の対局などを行いました。それに加え、将棋の経験を深め実力に繋げるべく、前年度から続けている他校との練習試合に重点を置きました。練習試合後に、個々の反省点を部員同士で共有することで、前期生・後期生ともに豊富な経験を得ることができました。囲碁では、詰め碁や部員同士の対局以外に、前期生との対局を多く取り入れました。前期生は、囲碁の経験を深め、後期生は、前期生に囲碁を教えることで、自分の囲碁を見直すきっかけになりました。

今年度は、一年生が例年よりも多く入部し、後輩が囲碁の大会で三位入賞するなど、部室に活気が溢れていました。この活気を失わずに、今後の活動に取り組んでいきたいと思えます。

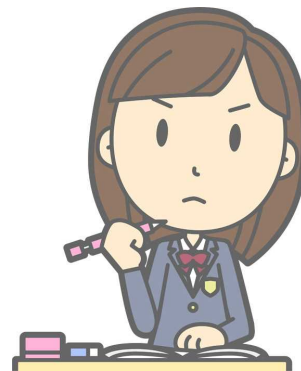


♪合唱部 四年一組 小林 由愛♪

今年度の合唱部は、一人一人の実力を確実に上げるために、昨年度までの活動を見直し、より充実したものとなるよう、部活動に取り組んできました。

今年度は、昨年度よりもたくさんの部員が入部し、より一層迫力の増した演奏ができるようになりました。しかし、新入部員一人一人に丁寧で細かい指導をすることができず、一曲一曲の出来があまり良いものになりませんでした。それを改善するために、六月頃から週に二回のトレーニングに加え、毎日の部活動の始めに簡単な筋力トレーニングをするようにしました。成果が目に見えて分かる訳ではありませんが、全員で小さなことからコツコツと努力を重ねています。

来年度は、今まで以上に真剣に合唱と向き合い、部活動に取り組んでいきたいです。部員全員が着実に力をつけ、コンクールで良い賞が取れるように、自分のことはもちろん、お互いに高め合える部にしていきたいです。そして、今年度よりも人を感動させる演奏ができるよう、日々の練習に全力で励んでいきたいです。



Let's Try!



